Wireless LAN PS-11

取扱説明書

http://www.corega.co.jp/

PN J613-M7084-00 Rev.A 0100831

安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。

分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

雷のときは
さわらない

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)

異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

設置場所
注意

表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。
本製品に付属の電源アダプターは 100V で動作します。

100V

電圧注意

付属の電源アダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。
必ず、付属の電源アダプターを使用してください。

付属品
を使え

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

たこ足禁止

ACアダプターのコードを傷つけない

火災や感電の原因となります。

傷つけない

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

プラグを
抜け

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- 腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな

中性洗剤
使用

堅く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）

シンナー
類不可

はじめに

この度は「corega Wireless LAN PS-11」無線LAN用プリントサーバをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本マニュアルは本製品を正しくご利用いただくための手引きです。
必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

本製品の最新情報

本製品に関する最新情報(ファームウェアのバージョンアップ情報など)は、コレガのホームページでお知らせします。

無線LANに関する情報や活用例などもご紹介しておりますので、是非、コレガのホームページをご覧ください。

corega のホームページ http://www.corega.co.jp/

本製品に関するご注意

1 本製品は、プリンターの双方向通信機能には、対応しておりません。コンピューターでプリンターの設定を行う際に、「双方向サポート」をOFFにしてお使いください。

2 本製品のテストプリント機能は、ASCIIコードをサポートしていないプリンターでは、ご使用になれません。

3 本製品にプリンターを接続するためのケーブルは、付属していません。お使いのプリンターに応じたプリンターケーブルをご用意ください。

4 本製品を次の条件で使用すると、ダイヤルアップルーターによっては、本製品起動時にダイヤルアップしてしまう可能性があります。その場合には、ルーターに本製品のパケットを通過しないように設定してください。
①TCP/IPにより本製品の設定を行っている。
②本製品の接続されているネットワークが、ダイヤルアップ式のルーターで他のネットワークに接続されている。

電波に関する注意

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。

また設置の前に、「安全のために」を必ずお読みください。

・ 心臓ペースメーカーをご使用の近くで、本製品をご使用にならないでください。
  心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

・ 医療機器の近くで、本製品をご使用にならないでください。
  医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

・ 電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。
  電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サポートセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等についてご相談して下さい。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターにお問い合わせ下さい。

全体的な設定の流れ

本製品を使用するには、設定作業が必要です。およそ以下のような流れで設定作業を行ってください。

＝保守＝

最新の機能を入手

（☞ 「7-1 ファームウェアのアップデート」p.81）

工場出荷時の設定に戻す

（☞ 「7-2 工場出荷時状態に戻す」p.84）

本書の読みかた

各ページの構成と記号について説明します。

このページは、取扱説明書の読み方を説明しています。
実際のページ内容とは異なります。

目　次

1 製品の概要

1-1 特長

corega Wireless LAN PS-11(以下、「PS-11」と略します)は、次の特長を持つ、無線プリントサーバーです。

- 高速 11Mbps
  高速度(最大 11Mbps)でのデータ伝送を実現します。
- ワイドな接続性
  無線 LAN 規格 IEEE802.11、IEEE802.11b 準拠により、同規格準拠の他社製品(ルーセントテクノロジー製チップ搭載製品など)との接続性を提供します。

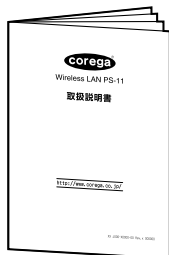
  memo　corega ホームページで、接続性情報を提供しています。
- AdHoc モードおよび Infrastructure モードに対応
  AdHoc 無線 LAN、Infrastructure 無線 LAN のどちらの形態でも使用できます。
- 複数のプロトコルに対応
  リモートプリントで最も一般的な TCP/IP による LPR に対応しているため、ほぼ全ての OS からの印刷が可能です。また、Windows 環境においてよく使用される NetBEUI にも対応しているため、柔軟な印刷環境を構築できます。

  memo　設定には、Windows95/98/Me/NT4.0/2000 がインストールされ、無線 LAN カードが装備されたコンピューターが必要です。
- 簡単で便利なユーティリティー
  付属のユーティリティーを使って、本機の設定を簡単に行うことが可能です。
- 万全なセキュリティ
  SSID および暗号化により、不正なコンピューターからのアクセスをシャットアウトできます。
- ノイズに強い DS-SS 方式
  DS-SS 方式(直接拡散スペクトラム拡散方式)は、特定の広い(2.4GHz 帯域)周波数を同時に使用して通信するため、他の信号に邪魔されずに交信を行って、ノイズの影響を受けることない通信を可能にします。
- Windows95/98/Me 対応ネットワーク印刷ソフト標準添付
  Windows95/98/Me においてネットワーク経由で印刷を行うための LPR ソフト”LPRint98” を標準添付。ユーザー数に制限がないため、オフィス内全員で利用できます。

1-2 パッケージの確認

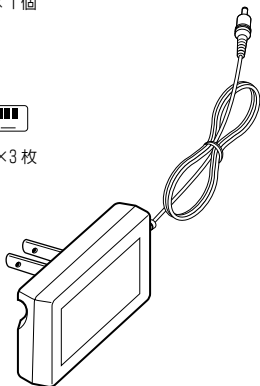
本製品パッケージの内容は、次の通りです。

memo　下記以外に添付紙が同梱されている場合があります。

お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

取扱説明書×1 個
(製品保証書付き)

corega Wireless LAN
PS-11 本体×１個

シリアル番号ラベル×3 枚

ユーティリティーCD-ROM×１枚
(Windows95/98/Me/NT4.0/2000 対応)
※LPRint98 のみ Windows95/98/Me 対応

AC アダプタ×1 台

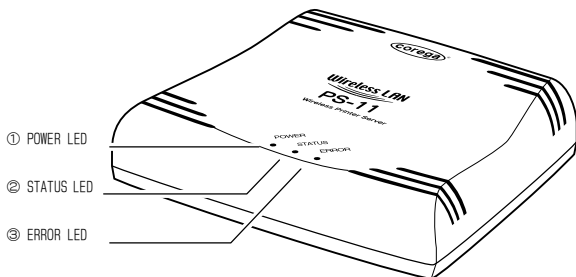
memo　PS-11 とプリンターを接続するためのプリンターケーブルは、付属していません。お使いのプリンターに応じたプリンターケーブルを、ご用意ください。

1-3 各部の名称と機能

上面

① POWER LED　　電源が正常に供給されているときに、緑色に点灯します。

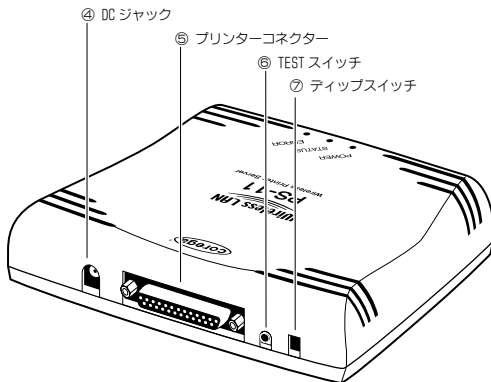
② STATUS LED　　有線 LAN 側の機器が通信可能な状況にあるときに、黄色に点灯します。

③ ERROR LED　　通信が行われているときに、赤色に点滅します。

背面

④ DC ジャック
AC アダプターの DC プラグを接続するためのコネクターです。

⑤ プリンターコネクター
プリンターを接続するためのコネクターです。

⑥ TEST スイッチ
運用中に押すことにより、設定内容をプリンターに出力できます。
TEST スイッチは、設定内容を工場出荷時の状態に戻すためにも使用できます。
電源を OFF にし、TEST スイッチを押したまま電源を ON にし、そのまま約 15 秒間 TEST スイッチを押しつづけてください。

⑦ ディップスイッチ
AdHoc と 802.11AdHoc の切り替えを行うスイッチです。
２つのスイッチがありますが、「1」の方のみ使用します。corega Wireless LAN USB-11 と接続する場合は、802.11AdHoc に切り替えてください。初期値は AdHoc です。

背面

裏面

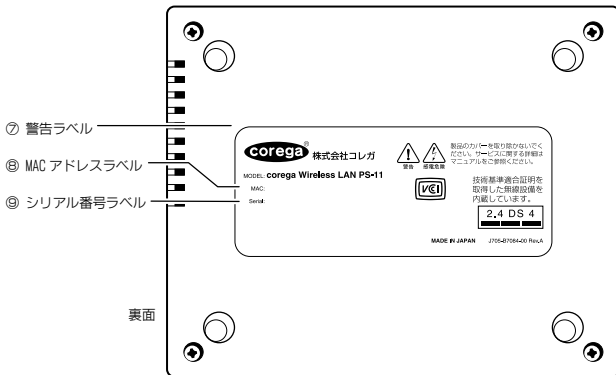
⑦ 警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくために、重要な情報が記載されています。
必ずお読みください。

⑧ MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記入されています。

⑨ シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されています。
同じ物が 3 枚同梱されており、パッケージ(外箱)にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベルは、「製品保証書」に貼付してください(残る 2 枚は、予備です)。
シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへお問い合わせいただく際に、必要な情報です。

memo　本製品には、次の内容を意味する 2.4 DS 4 記号が表示されています。

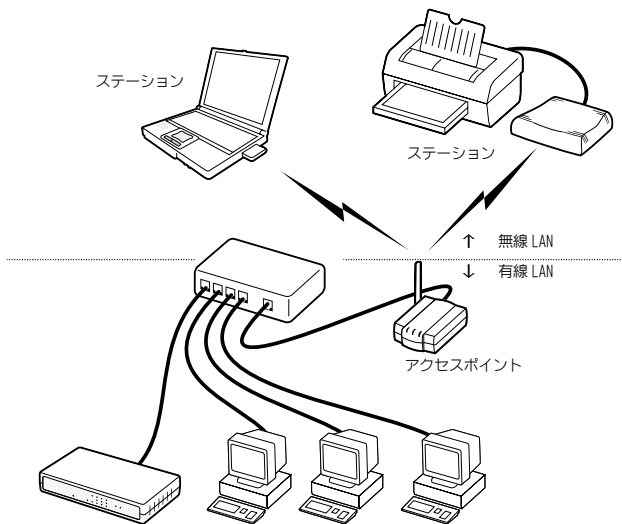
使用周波数帯域	2.4GHz 帯
変調方式	DS-SS 方式
想定干渉距離	20m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」帯域を回避可能

1-4 無線 LAN について

無線 LAN を構築する要素

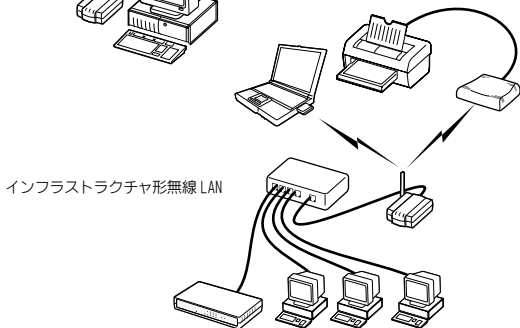
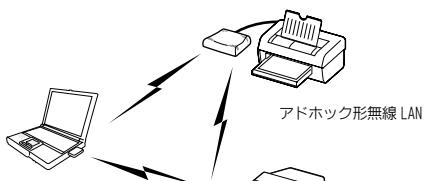
無線 LAN はステーションと、アクセスポイントから構成されます。

- ステーション
  無線 LAN 機器(PS-11 や無線 LAN カードなど)を装備したコンピューターやプリンターなど。
- アクセスポイント
  無線 LAN と有線 LAN とを接続するための機器を、「アクセスポイント」と呼びます。

memo　PS-11 はステーションとして動作します。

memo　PS-11 を使用することで、プリンターを無線 LAN 環境でご使用いただけます。

無線 LAN には、ステーションとアクセスポイントの組み合わせにより、2 種類のネットワーク形態があります。

・アドホック形無線 LAN
ステーションだけで構成されており、ステーションが相互に通信を行うタイプのネットワークです。無線のみで通信を行います。

・インフラストラクチャ形無線 LAN
有線 LAN の一部に接続されたアクセスポイントを通して、ステーションと有線 LAN とが、またはステーション同士が通信を行うタイプのネットワークです。無線 LAN と有線 LAN が混在した環境で通信を行います。

memo　PS-11 は動作モードを切り替えることにより、どちらのネットワーク形態にも使用することができます。

注意!!　PS-11 を購入後、初めて設定する場合は、アドホック形無線 LAN 形態で設定を行う必要があります。

相互接続性

PS-11 は、IEEE802.11 および IEEE802.11b という、無線 LAN の規格に準拠しており、同じ規格に準拠した他の無線 LAN 機器と、相互に通信が可能です。

memo　一部機能に制限が生じたり、接続できないケースもあります。

memo　相互接続の実績についての詳細は、corega のホームページにて、順次公開いたします。

対応 OS とプロトコル

PS-11 で印刷用に利用できるプロトコルは、以下のとおりです。

- TCP/IP
- NetBEUI

これらのプロトコルを使用して印刷を行う主な OS は、以下のとおりです。

- Windows95/98/Me/NT4.0/2000(TCP/IP、NetBEUI)

memo　Windows95/98/Me では、付属の LPRint98 を使用することにより TCP/IP(LPR)での印刷が可能です。

memo　PS-11 では、複数のプロトコルを同時に処理することが可能ですが、パフォーマンスの観点から、同時に動作させるプロトコルは極力少なくするべきです。従って、通常は TCP/IP のみでご使用になることをお勧めします。

対応プリンター

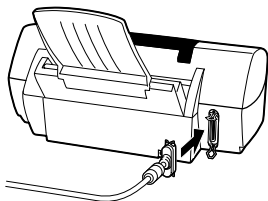
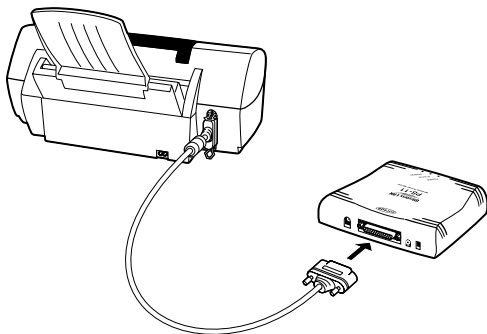
PS-11 を接続して無線 LAN 上で共有できるプリンターは、以下の条件を満たしている必要があります。

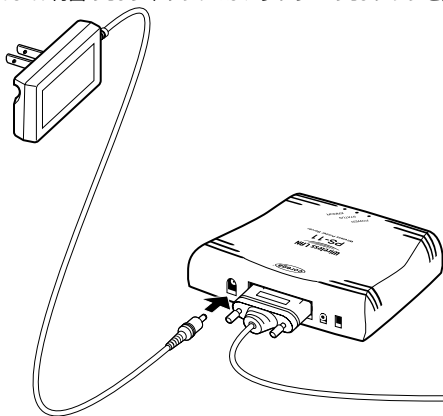
- パラレルポートを装備している。
- 印刷を実行したい OS に対応したドライバーソフトが提供されている。

2 本製品の接続と起動

ここでは、PS-11 にプリンターを接続し、接続を確認する手順を説明しています。

memo　プリンターを PS-11 に接続する前に、コンピューターと直接接続し、正常に印刷ができることを確認しておいてください。プリンターの接続方法やドライバーのインストール方法については、プリンターに付属している取扱説明書を参照してください。

1　プリンター背面のパラレルコネクターにプリンターケーブルを接続してください。

2　PS-11 背面のプリンターコネクターにプリンターケーブルのもう一方のコネクターを接続してください。

3 プリンターの電源を ON にし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。

4 PS-11 背面の DC ジャックに AC アダプターの DC プラグを接続してください。

5 AC アダプターの電源プラグをコンセントに接続してください。

PS-11 の電源が ON になり、PS-11 上面の LED が次のように点灯します。

PS-11 の起動が完了した時点で、POWER LED のみが点灯している状態になります。

注意!! LED の詳しい表示については、付録 C(☞ p.94)をご参照ください。

注意!! 必ずプリンターの起動を確認した後に、PS-11 の電源を ON にしてください。

5 PS-11 背面の TEST スイッチを押し、1〜2 秒後に放してください。

POWER LED と STATUS LED が点滅を始め、プリンターに PS-11 の設定内容が印刷されます。

正常に印刷されれば、PS-11 とプリンターは、正常に接続されています。

注意!! PostScript プリンター以外でテスト印刷を行った場合、1 行目に複数の行が重なって印刷されますが、障害ではありません。これは、PostScript プリンターからも正常にテスト印刷が行えるように付けられた PostScript コードが印刷されているものです。実際のテスト印刷の内容は、2 行目以降です。尚、PostScript プリンターをお使いの場合は、この現象は発生しません。

注意!! ASCII コードをサポートしていない一部のプリンターでは、本機能をご使用になれません。
本機能が動作しない場合は、ご使用のプリンターが ASCII コードをサポートしているか、プリンターのメーカーにお問い合わせください。

3 設定の開始

3-1 設定の流れ

本章では PS-11 に対し、設定を行うためのコンピューターの準備方法について説明しています。設定用コンピューターの準備は、以下の流れで行います。

コンピューターの用意と構成 (☞「3-2 設定の準備」p.22)

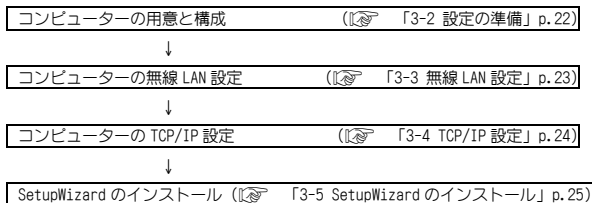
↓

コンピューターの無線 LAN 設定 (☞「3-3 無線 LAN 設定」p.23)

↓

コンピューターの TCP/IP 設定 (☞「3-4 TCP/IP 設定」p.24)

↓

SetupWizard のインストール (☞「3-5 SetupWizard のインストール」p.25)

3-2 設定の準備

設定に必要な機器

PS-11 の設定を行うためには次の機器が必要です。

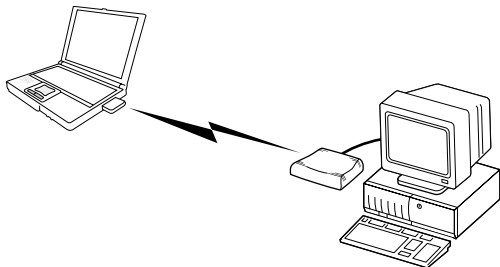
- 次の条件を満たすコンピューター
  IEEE802.1 または IEEE802.11b に準拠した無線 LAN カードを装備している
  TCP/IP が組み込まれている
  CD-ROM ドライブが装備されている
  Microsoft Internet Explorer 4.01 がインストールされている

memo コンピューターへの無線 LAN カードの取り付け方法や、設定方法についての詳細は、LAN カードに付属の取扱説明書を参照してください。

memo コンピューターの OS として Windows95/98/Me/NT4.0/2000 を使用している場合は、設定ツール(SetupWizard)を使って PS-11 の設定を行うことができます。

memo 設定ツール(SetupWizard)を WinsowsNT4.0 にインストールする場合、サービスパック 3 以上が必要になります。

設定のための構成

初めて設定を行う場合は、誤動作や他の機器への影響を避けるために、PS-11 と設定用のコンピューター以外の、無線 LAN 機器の電源を OFF にした状態で、設定作業を行うことをお勧めします。

3-3 無線 LAN 設定

購入後はじめて PS-11 の設定を行う際には、設定用コンピューターに以下の無線 LAN 設定を行っておく必要があります。

動作モード　：AdHoc モード

チャンネル　：10

WEP(暗号化) ：なし

PS-11 の設定を変更した場合は、設定用コンピューターの設定もそれにあわせてください。

memo　無線 LAN の設定方法についての詳細は、無線 LAN カードに付属の取扱説明書を参照してください。

3-4 TCP/IP 設定

SetupWizardを使用してPS-11の設定を行う場合は、設定用コンピューターに以下のTCP/IP設定を行っておく必要があります。

IPアドレス　　　　：運用時に使用するIPアドレス

サブネットマスク　：運用時に使用するサブネットマスク

注意!! 初回設定時には、設定用のコンピューターにIPアドレスを手動で設定してください。IPアドレスを自動的に取得する設定にしないでください。

注意!! SetupWizardは、Windows95/98/Me/NT4.0/2000でのみ使用できます。

注意!! 本書では、設定用コンピューターの運用時のIPアドレスを以下に設定したものとして説明しています。

- 設定用コンピューターのIPアドレス値：192.168.0.3
- 設定用コンピューターのサブネットマスク値：255.255.255.0

設定の際には、実際の値に読み替えてください。

memo TCP/IPの組み込み方法や設定方法についての詳細は、LANカードに付属の取扱説明書、または各OSの説明書を参照してください。

3-5 SetupWizard のインストール

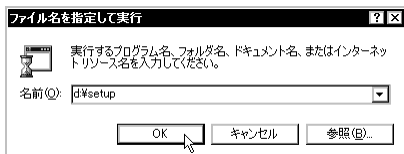
Windows95/98/Me/NT4.0/2000 を使用して PS-11 の設定を行う場合には、PS-11 設定ユーティリティーである SetupWizard を使用して設定を行えます。ここでは、SetupWizard をコンピューターにインストールする方法について説明します。

注意!! PS-11 設定ユーティリティーは、Windows95/98/Me/NT4.0/2000 以外の OS には、インストールできません。

1 ユーティリティーCD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入してください。

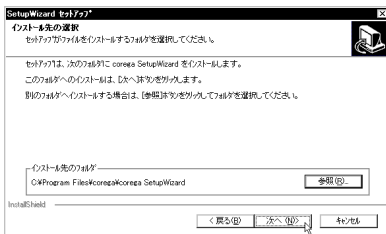
memo 本書では、CD-ROM ドライブのドライブ名を"d:"として説明しています。実際にインストールされる際には、実際の CD-ROM ドライブのドライブ名に読み替えてください。

2 [スタート]-[ファイル名を指定して実行(R)...]を選択してください。

ファイル名を指定して実行ダイアログボックスが表示されます。

3 名前欄に「d:¥setup」と入力し、 OK をクリックしてください。

InstallShield ウィザードが起動します。

4 次へ(N)> をクリックしてください。

インストール先の選択が表示されます。

memo インストール先のフォルダを変更したい場合は、参照(R)... をクリックし、インストールしたいフォルダを選択してください。
通常は、変更する必要はありません。

5 次へ(N)> をクリックしてください。

InstallShield ウィザードの完了が表示されます。

6 [完了] をクリックしてください。

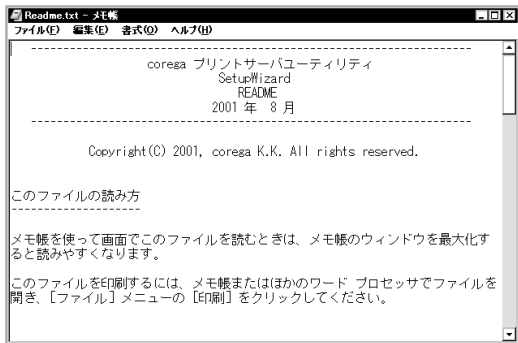
InstallShield ウィザードが終了し、Readme が表示されます。

----
corega プリントサーバユーティリティ
SetupWizard
README
2001 年 8 月

Copyright(C) 2001, corega K.K. All rights reserved.

このファイルの読み方

メモ帳を使って画面でこのファイルを読むときは、メモ帳のウィンドウを最大化すると読みやすくなります。

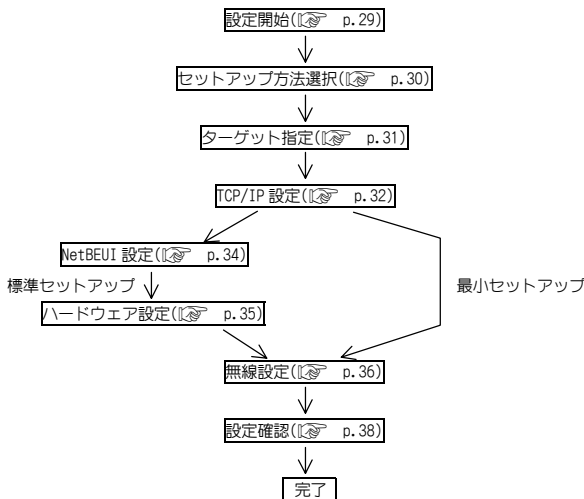
このファイルを印刷するには、メモ帳またはほかのワード プロセッサでファイルを開き、[ファイル] メニューの [印刷] をクリックしてください。

memo Readme には、最新の情報が格納されています。必ずお読みください。

7 [ファイル(F)]-[メモ帳の終了(X)]を選択してください。

Readme が閉じ、ユーティリティーのインストールが完了します。

4 SetupWizard での設定

4-1 設定の流れ

SetupWizard には、最小セットアップと標準セットアップという 2 つの設定方法があります。それぞれ、設定できる内容が以下のように違っています。

NetBEUI での印刷を行いたい場合は、標準セットアップを、それ以外の場合は、最小セットアップを選択してください。

memo　SetupWizard と同等の設定が、Web ブラウザーからも可能です。
実際に運用を始めた後は、Web インタフェースからの設定が便利です。
(「5 Web インタフェースでの設定」p.40)

4-2 設定

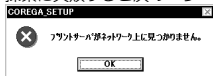
セットアップの開始

1 コンピューターから、[スタート]-[プログラム(P)]-[corega SetupWizard]-[SetupWizard]を選択してください。

SetupWizardが起動し、セットアップ方法選択が表示されます。

memo エラーメッセージが表示された場合の対処

SetupWizard起動時には、PS-11の探索が自動的に行われます。

探索に失敗すると次のエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示された場合は、次のように対処してください。

①[OK]をクリックしてください。
セットアップ方法選択ウィンドウが表示されます

②[キャンセル]をクリックしてください。
SetupWizardが終了します。

③再度SetupWizardを起動してください。

以上の対処を行ってもエラーメッセージが表示される場合は、設定用コンピューターの無線LAN設定を再度確認してください。

セットアップ方法選択

1 セットアップ方法を選択してください。

①最小セットアップ：TCP/IP 設定のみ

TCP/IP でのみ印刷する場合に選択してください。

memo　PS-11 が正常に無線 LAN 環境で使用できることを確認した後、必要に応じて標準セットアップを行ってください。

②標準セットアップ：

プロトコルに NetBEUI を使用する場合などに選択してください。

③ Version Info

クリックすることで、SetupWizard のバージョン情報が表示されます。

2 次へ(N)> をクリックしてください。

ターゲット指定が表示されます。

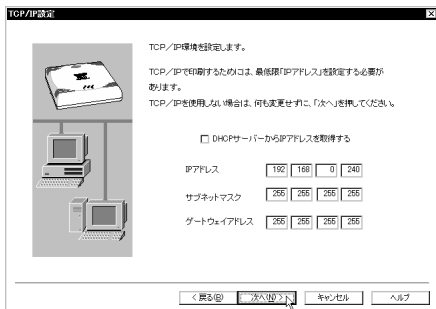
ターゲット設定

1 リストから設定を行いたい PS-11 を選択し、ターゲット欄に PS-11 の名称が表示されたことを確認してください。

memo リストに PS-11 が表示されていない場合は、 再検索 をクリックしてください。再検索を行っても PS-11 が表示されない場合は、ここまでの設定手順を参考に、設定内容を再度見直してください。

2 次へ(N)> をクリックしてください。

TCP/IP 設定が表示されます。

TCP/IP 設定

1 TCP/IP 設定を行ってください。

① DHCP サーバーから IP アドレスを取得する

DHCP サーバーにより PS-11 の IP アドレスを管理したい場合に選択してください。

注意!! DHCP サーバーにより PS-11 の IP アドレスを割り当てる場合は、必ず毎回同じ IP アドレスが割り当てられるように DHCP サーバーを設定してください。
割り当てられる IP アドレスが変わる場合、正常に印刷ができなくなる場合があります。

memo PS-11 が正常に無線 LAN 環境で使用できることを確認した後、必要に応じて標準セットアップを行ってください。(☞ 「4 SetupWizard での設定」p.28)

② IP アドレス

運用で使用する IP アドレスを入力してください。

③ サブネットマスク

運用で使用するサブネットマスクを入力してください。

memo 通常は、設定に使用しているコンピューターと同じサブネットマスク値となります。コンピューターのサブネットマスクを参照する方法については、「C コンピューターのネットワーク設定を参照する」(☞ p.95)を参考にしてください。

③ ゲートウェイアドレス

運用で使用するゲートウェイアドレスを入力してください。

memo　通常は、他のネットワークとの接続に使用しているルーターの LAN 側アドレスとなります。同一 LAN 内のコンピューターからのみ PS-11 を使用する場合は、変更する必要はありません。

5 次へ(N)> をクリックしてください。

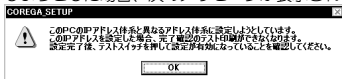
最小セットアップ時は、無線設定が表示されます。

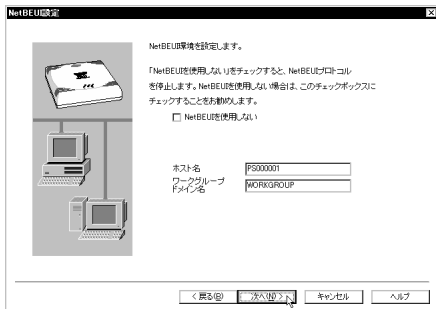
標準セットアップ時は、NetBEUI 設定が表示されます。

memo　設定を行っているコンピューターと、TCP/IP で通信ができないような設定をしようとした場合、次のメッセージが表示されます。

COREGA_SETUP

このPCのIPアドレス体系と異なるアドレス体系に設定しようとしています。
このIPアドレスを設定した場合、完了確認のテスト印刷ができなくなります。
設定完了後、テストスイッチを押して設定が有効になっていることを確認してください。

OK

意図した設定ではない可能性があります。再度、設定内容を見直してください。

NetBEUI 設定

1 NetBEUI 設定を行ってください。

① NetBEUI を使用しない

NetBEUI を使用しない場合、チェックを入れてください。

memo NetBEUI を使用しない設定でも、Windows から印刷を行えます。

memo NetBEUI を使用しないように設定することで、印刷のパフォーマンスが改善されることがあります。

② ホスト名

ネットワーク上で本機を識別するためのホスト名を入力してください。

memo 半角英数記号 15 文字以内で入力してください。

memo 下記の半角記号は使用できません。
“ = | ¥ + ; * :] [, < > ?

memo 同一ネットワーク上の他の機器と同じ名前を使用することはできません。

③ ワークグループ ドメイン名

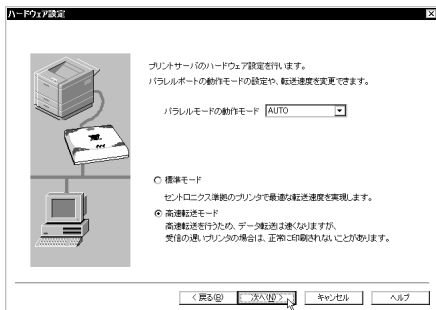
Microsoft ネットワークのワークグループ名、またはドメイン名を入力してください。

memo 半角英数記号 15 文字以内で入力してください。

memo 以下の半角記号は使用できません。
“ = | ¥ + ; * :] [, < > ?

2 次へ(N)> をクリックしてください。

ハードウェア設定が表示されます。

ハードウェア設定

1 ハードウェア設定を行ってください。

ハードウェア設定は、PS-11 とプリンター間の通信に関する設定です。

① パラレルポートの動作モード

PS-11 に装備されているパラレルポートの動作モードを、以下から選択してください。

AUTO、COMPATIBLE、ECP、NIBBLE

memo 特別な理由のない限り、AUTO に設定してください。
プリンターが対応していないモードに設定した場合、正常に印刷ができません。

memo ECP モード以外を選択した場合には、必ずプリンターの電源を ON にした後に PS-11 の電源を ON にしてください。

② 転送速度を選択してください。

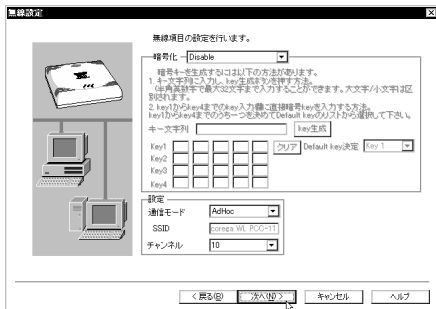
本機とプリンター間の印刷データ転送速度を、以下から選択してください。

- 標準モード　セントロニクス規格に準拠した転送速度です
- 高速転送モード　高速なデータ転送を行います。処理速度の遅いプリンターでは、正常に印刷できない場合があります。

memo 本設定は ECP モード時以外で有効です。

2 次へ(N)> をクリックしてください。

無線設定が表示されます。

無線設定

1 暗号化設定を行ってください。

① 暗号化

暗号化を使用するかどうかを選択してください。

Disable　　暗号化を使用しない

Enable　　暗号化を使用する

memo　初めての設定の際には、Disable に設定することをお勧めします。設定が完了し、PS-11 の動作が確認できたあと、実際の運用環境にあわせて設定してください。

② キー文字列

暗号キーの元となるキー文字列を入力してください。

memo　キー文字列には、32 文字以内の半角英数文字を使用できます。
大文字/小文字は区別されます。

memo　暗号 key を直接入力する場合は、キー文字列を入力する必要はありません。

③ Key 生成

クリックすることで、キー文字列を元に Key1～Key4 の暗号キーが生成されます。

④ Key1～Key4

無線通信のデータを暗号化するための暗号キーです。

キー文字列を元に生成するか、直接入力してください。

memo　暗号キーは、2 桁ずつに区切られた 10 桁の 16 進数で、入力してください。

2 無線設定を行ってください。

①通信モード

運用で使用する通信モードを選択してください。

AdHoc　　　　　：無線 LAN 機器のみで構築されたネットワークで運用する場合に選択
Infrastructure：無線 LAN と有線 LAN が混在するネットワークで運用する場合に選択

memo　AdHoc と Infrastructure については、「1-4 無線 LAN について」(☞ p.16) を参照してください。

② SSID

無線 LAN を構成するコンピューターをグルーピングするための名前です。
接続したいアクセスポイントに設定されている SSID と同じ文字列を入力してください。

memo　工場出荷時の SSID は、「corega WL PCC-11」に設定されています。

memo　SSID には、32 文字以内の半角英数文字および記号を使用できます。
使用できる記号は、次のとおりです。
!”#$%&’()*+,-./:;<=>?@[¥]^_{|}￣

memo　AdHoc モード時は、SSID が無効となります。

③チャンネル

他の無線 LAN 端末(ステーション)と同じチャンネルを選択してください。

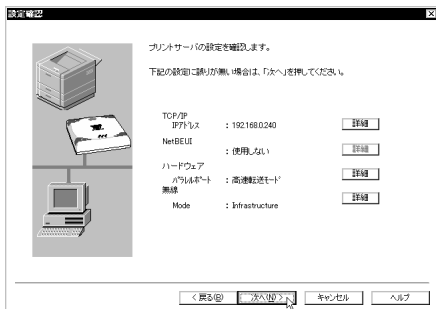
memo　工場出荷時のチャンネルは、「10」に設定されています。

memo　チャンネルによって通信に使用する電波の周波数が異なります。

memo　Infrastructure モード時は、チャンネルが無効となり、アクセスポイントに設定されているチャンネルが自動的に選択されます。

3 次へ(N)> をクリックしてください。

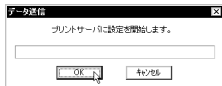
設定確認が表示されます。

設定確認と設定内容の反映

1 設定内容を確認してください。

詳細 をクリックすることで、各設定内容の詳細を参照できます。

memo 設定内容を修正する場合は、修正したい設定が表示されるまで <戻る(B) をクリックし、設定内容を修正してください。
修正後、設定確認が表示されるまで 次へ(N)> をクリックしてください。

2 次へ(N)> をクリックしてください。

データ送信が表示されます。

3 [OK] をクリックしてください。

設定内容が PS-11 に転送されます。

転送が完了すると、完了が表示されます。

注意!! 本製品のテストプリント機能は､ASCIIコードをサポートしていないプリンターでは、ご使用になれません。

memo 設定内容を印刷したい場合は、[テスト印刷する。] にチェックを入れておいてください。再起動後にテスト印刷が行われます。

9 [完了] をクリックしてください。

PS-11 が再起動され、設定内容が有効になります。

再起動完了後、自動的に SetupWizard が終了します。

5 Web インタフェースでの設定

PS-11 には、設定用の Web サーバーが内蔵されており、コンピューターの Web ブラウザーから接続することで、PS-11 の詳細な設定内容を変更することができます。

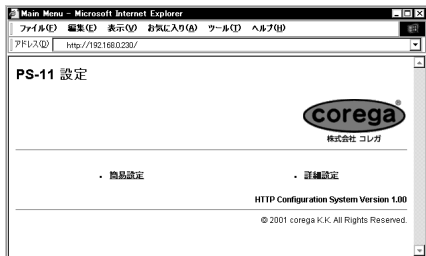
注意!! Web インタフェースを利用して PS-11 の設定を行うためには、以下の条件を満たす Web ブラウザーが必要です。

・Microsoft Internet Explorer(バージョン:3.0)以降
・Netscape Navigator(バージョン:3.0)以降

Web インタフェースの設定メニューは、以下のような階層構造になっています。

5-1 設定の開始

1 Web ブラウザーを起動し、アドレス欄に PS-11 の IP アドレスを入力し Enter キーを押してください。

PS-11 設定のメインメニューページが表示されます。

memo 購入後初めて PS-11 を設定する場合、および、初期化を行った場合、PS-11 の IP アドレスは、次の値になっています。
192.168.0.240

2 設定方法を選択してください。

対応する設定ページが表示されます。

簡易設定 TCP/IP と無線 LAN に関する最小限の設定を行えます。
（☞ 「5-2 簡易設定」p.44）

詳細設定 PS-11 に設定可能なすべての設定が行えます。
（☞ 「5-3 詳細設定」p.47）

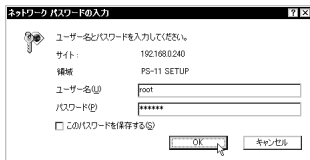
5-2 簡易設定

1 PS-11 設定のメインメニューページから、簡易設定をクリックしてください。

簡易設定ページが表示されます。

簡易設定ページには、現在設定されている設定値が表示されます。

2 設定変更をクリックしてください。

認証ダイアログボックスが表示されます。

3 ユーザーID とパスワードを入力してください。

① ユーザーID

ユーザーID 欄に"root"と入力してください。

② パスワード

パスワード欄にパスワードを入力してください。

注意!! セキュリティーの観点より、パスワードを変更することをお勧めします。

memo パスワードの工場出荷時設定は、corega です。

memo 入力したパスワードは、"*"で表示されます。

4 | OK | をクリックしてください。

簡易設定の設定変更ページが表示されます。

4 新しい設定内容を入力してください。

① IP アドレス

設定したい IP アドレスを入力してください。

memo 工場出荷時には、192.168.0.240 と設定されています。

② ネットマスク

設定したいサブネットマスクを入力してください。

memo 工場出荷時には、255.255.255.255 と設定されています。

③ ゲートウェイ

設定したいゲートウェイアドレスを入力してください。

memo 通常は、他のネットワークとの接続に使用しているルーターの LAN 側アドレスとなります。同一 LAN 内のコンピューターからのみ PS-11 を使用する場合は、変更する必要はありません。

④ 通信モード

運用で使用する通信モードを選択してください。

AdHoc　　　　　：無線 LAN 機器のみで構築されたネットワークで運用する場合に選択
Infrastructure：無線 LAN と有線 LAN が混在するネットワークで運用する場合に選択

memo　AdHoc と Infrastructure については、「1-4 無線 LAN について」（☞ p.16）を参照してください。

⑤チャンネル

AdHoc モードで使用する場合には、他の無線 LAN 端末(ステーション)と同じチャンネルを選択してください。Infrastructure モードで使用する場合は、特に変更する必要はありません。

memo　工場出荷時のチャンネルは、「10」に設定されています。

memo　チャンネルによって通信に使用する電波の周波数が異なります。

memo　Infrastructure モード時は、チャンネルが無効となり、アクセスポイントに設定されているチャンネルが自動的に選択されます。

⑥ SSID

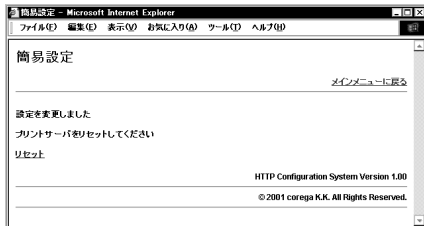
無線 LAN を構成するコンピューターをグルーピングするための名前です。
Infrastructure モードで使用したい場合には、アクセスポイントに設定されている SSID と同じ文字列を入力してください。AdHoc モードで使用する場合には、特に設定の必要はありません。

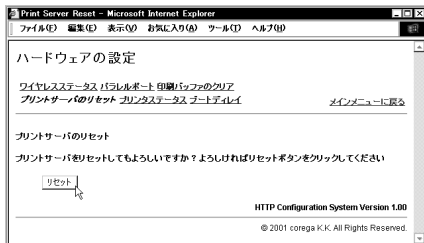
memo　工場出荷時の SSID は、「corega WL PCC-11」に設定されています。

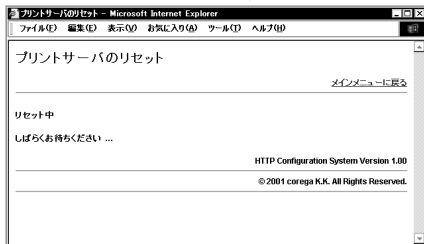
memo　SSID には、32 文字以内の半角英数文字および記号を使用できます。
使用できる記号は、次のとおりです。
!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_{|}‾

memo　AdHoc モード時は、SSID が無効となります。

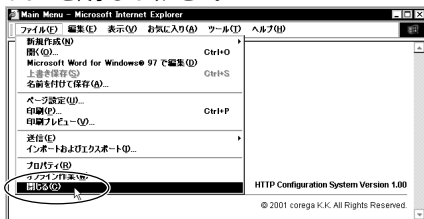
4　[設定更新] をクリックしてください。

入力した設定内容が保存され、リセットを促すメッセージが表示されます。

4 リセット をクリックしてください。

プリントサーバのリセットページが表示されます。

5 リセット をクリックしてください。

PS-11 がリセットされ、リセット中のメッセージが表示されます。

リセットが完了すると、設定内容が PS-11 の動作に反映され、PS-11 の Top ページが表示されます。

注意!! 通信モード等を変更した場合、リセット後、Web 画面は表示できません。
設定用のコンピューターの無線 LAN 環境を変更してください

6 Web ブラウザーのメニューから[ファイル(F)]-[閉じる(C)]を選択し、Web ブラウザーを終了してください。

5-3 詳細設定

ページの構成

詳細設定の各設定ページは、以下の要素から構成されています。

①クリックすることで、表示されている設定内容を、工場出荷時の設定に戻すことができます。
②クリックすることで、表示されている設定内容を、変更するためのページを表示できます。
③現在の設定内容が表示されます。
④クリックすることで他の設定ページを表示できます。
⑤タイトルが表示されます。

パラレルポート - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

ハードウェアの設定

ワイヤレスステータス パラレルポート 印刷バッファのクリア
プリントサーバのリセット プリンタステータス ブートディレイ
メインメニューに戻る

パラレルポートの設定

サポートするパラレルモード	自動
現在のパラレルモード	ニブルモード

: 設定を変更する
: 工場出荷時設定に戻す

HTTP Configuration System Version 1.00

© 2001 corega K.K. All Rights Reserved.

⑥Web インタフェースのバージョンが表示されています。
⑦メインメニューに戻ります。設定値を入力中であった場合、入力はキャンセルされます。

詳細設定の基本的な操作の流れは、簡易設定と同じです。操作手順に関しては、簡易設定に関する説明を参考にしてください。(「5-2 簡易設定」p.42)

以後、各設定ページの設定内容についての解説のみとします。

TCP/IP 設定

① DHCP

DHCP サーバーにより PS-11 の IP アドレスを管理するかどうかを選択してください。

- 有効　　PS-11 起動時に DHCP サーバーより TCP/IP に関する設定が取得されます。
- 無効　　本ページで入力した IP アドレス等の設定が有効となります。

注意!! DHCP サーバーにより PS-11 の IP アドレスを割り当てる場合は、必ず毎回同じ IP アドレスが割り当てられるように DHCP サーバーを設定してください。
割り当てられる IP アドレスが変わる場合、正常に印刷ができなくなる場合があります。

② IP アドレス

運用で使用する IP アドレスを入力してください。

memo 工場出荷時には、192.168.0.240 と設定されています。

③ サブネットマスク

運用で使用するサブネットマスクを入力してください。

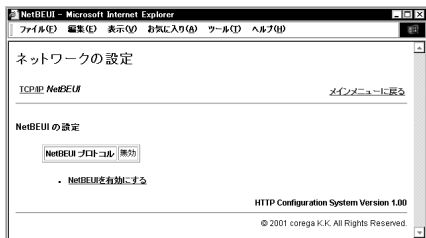
memo 工場出荷時には、255.255.255.255 と設定されています。

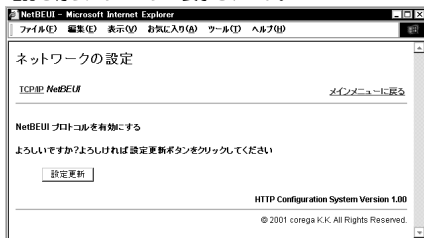
③ ゲートウェイアドレス

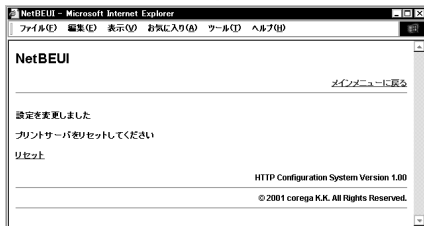
設定したいゲートウェイアドレスを入力してください。

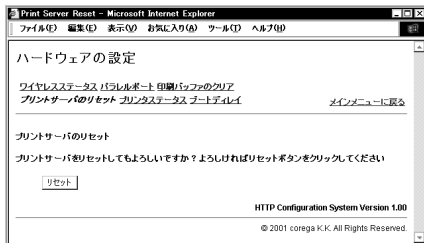
memo 通常は、他のネットワークとの接続に使用しているルーターの LAN 側アドレスとなります。同一 LAN 内のコンピューターからのみ PS-11 を使用する場合は、変更する必要はありません。

NetBEUI の設定

NetBEUI が動作中かどうかにより、詳細設定ページから NetBEUI をクリックした際に、表示される内容が異なります。工場出荷時状態では、NetBEUI が動作していません。NetBEUI を使用したい場合は、以下の手順に従って設定を行ってください。

1 NetBEUI を有効にする をクリックしてください。

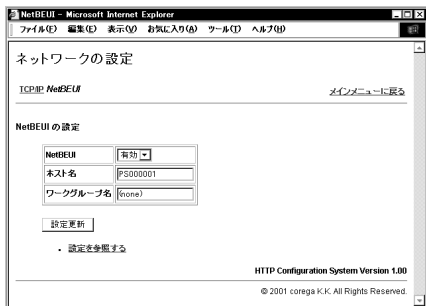
確認を行うメッセージが表示されます。

2 設定更新 をクリックしてください。

設定が変更され、リセットを促すメッセージが表示されます。

3 リセット をクリックしてください。

プリントサーバのリセットページが表示されます。

4 リセットを行ってください。(☞ p.14)

NetBEUI が動作を開始し、メインメニューが表示されます。

5 メインメニューより 詳細設定 - NetBEUI - 設定を変更する とクリックしてください。

NetBEUI の設定ページが表示されます。

① NetBEUI

NetBEUI の使用をやめる場合、 無効 を選択してください。

② ホスト名

ネットワーク上で本機を識別するためのホスト名を入力してください。

memo 半角英数記号 15 文字以内で入力してください。

memo 下記の半角記号は使用できません。

“ = | ¥ + ; * :] [, < > ?

memo 同一ネットワーク上の他の機器と同じ名前を使用することはできません。

③ ワークグループ名

Microsoft ネットワークのワークグループ名、またはドメイン名を入力してください。

ワイヤレスモードの設定

① 通信モード

運用で使用する通信モードを選択してください。
選択したモードによって 設定更新 をクリック後に表示されるページが変わります。

- AdHoc　無線 LAN 機器のみの環境で使用する場合に選択
「アドホックモードの設定」（☞ p.53）
- Infrastructure 無線 LAN と有線 LAN が混在した環境で使用する場合に選択
「インフラストラクチャモードの設定」（☞ p.54）

memo　AdHoc と Infrastructure については、「1-4 無線 LAN について」（☞ p.16）を参照してください。

② 暗号化

暗号化を使用するかどうかを選択してください。

無効　暗号化を使用しない
有効　暗号化を使用する

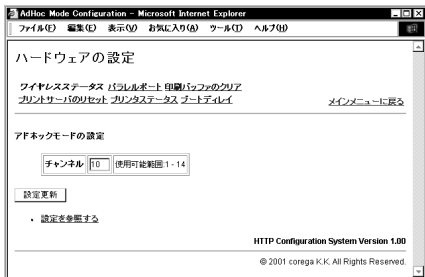
③ 暗号化キー1～4

無線通信のデータを暗号化するための暗号キーです。
16 進数で直接入力してください。

④ デフォルトキー

登録した 4 つのキーのうち、実際にどのキーを使用するか選択してください。

アドホックモードの設定

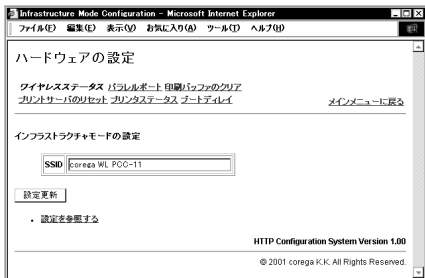
ワイヤレスステータス設定ページで、動作モードに AdHoc を、選択している場合に表示されます。

① チャンネル

他の無線 LAN 端末(ステーション)と同じチャンネルを選択してください。

memo　工場出荷時のチャンネルは、「10」に設定されています。

memo　チャンネルによって通信に使用する電波の周波数が異なります。

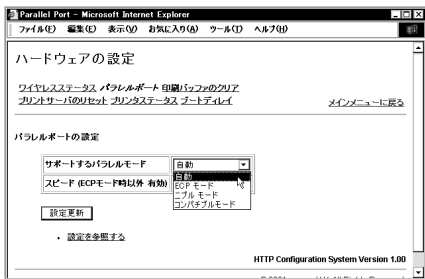
インフラストラクチャモードの設定

ワイヤレスステータス設定ページで、動作モードに Infrastructure を、選択している場合に表示されます。

① SSID

無線 LAN を構成するコンピューターをグルーピングするための名前です。
接続したいアクセスポイントに設定されている SSID と同じ文字列を入力してください。

memo　工場出荷時の SSID は、「corega WL PCC-11」に設定されています。

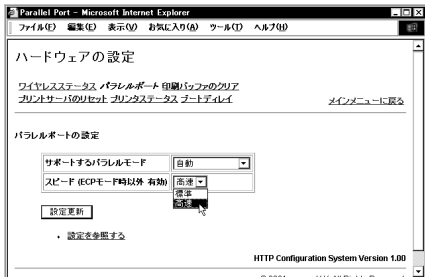
memo　SSID には、32 文字以内の半角英数文字および記号を使用できます。
使用できる記号は、次のとおりです。
!”#$%&’()*+,-./:;<=>?@[¥]^_{|}￣

パラレルポート

① サポートするパラレルモード

PS-11 に装備されているパラレルポートの動作モードを、以下から選択してください。

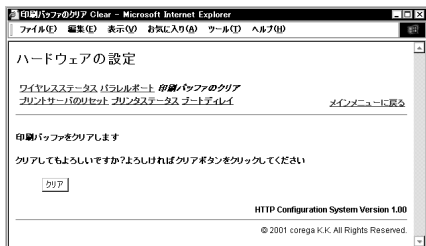
自動、ECP モード、ニブルモード、コンパチブルモード

memo 特別な理由のない限り、AUTO に設定してください。
プリンターが対応していないモードに設定した場合、正常に印刷ができません。

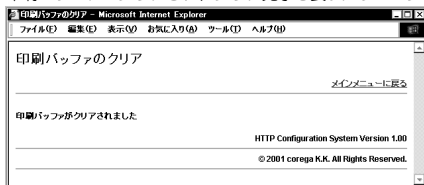
memo ECP モード以外を選択した場合には、必ずプリンターの電源を ON にした後に PS-11 の電源を ON にしてください。

② スピード（ECP モード時以外 有効）

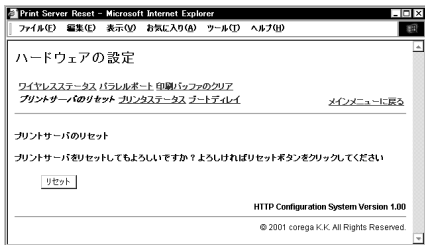
本機とプリンター間の印刷データ転送速度を、以下から選択してください。

- 標準モード　セントロニクス規格に準拠した転送速度です
- 高速転送モード　高速なデータ転送を行います。処理速度の遅いプリンターでは、正常に印刷できない場合があります。

印刷バッファのクリア

PS-11 は、印刷速度を向上させるため、印刷データを一時的に格納する印刷バッファを備えています。この印刷バッファをクリアする機能です。

1 クリア をクリックしてください。

印刷バッファがクリアされ、クリア完了を表すメッセージが表示されます。

プリントサーバのリセット

PS-11 をリセットすることができます。

1 リセット をクリックしてください。

PS-11 のリセットが開始され、リセット中を表すメッセージが表示されます。
リセットが完了すると自動的にメインメニューが表示されます。

プリンタステータス

印刷に関連する各種情報と、PS-11 に接続されたプリンターに関する情報が表示されます。

ブートディレイ

PS-11 の電源を ON にしてから、実際に動作を開始するまでの待ち時間を設定できます。このブートディレイを適切に設定することにより、PS-11 とプリンターの電源を同時に ON にした場合でも、プリンターが完全に起動した後に、PS-11 が起動するようにできます。

memo　PS-11 は、プリンターとの通信モードを自動的に判断しています。このためには、プリンターが完全に起動した状態で、PS-11 を起動する必要があります。

① ブートディレイ(秒)

PS-11 の電源を ON にしてから、実際に PS-11 が起動を開始するまでの待ち時間を入力してください。

memo　工場出荷時のブートディレイは、「0」に設定されています。
設定範囲は、0～240 です。

パスワードの変更

PS-11 の設定を変更するためには、パスワードによる認証が必要です。

memo　ユーザー名は、root に固定されています。変更することはできません。

1 旧パスワードを入力してください。

パスワードを変更するためには、変更前のパスワードを入力する必要があります。

2 新パスワードを入力してください。

memo　パスワードには、4 文字以上 15 文字以下の半角英数文字が使用できます。記号は、使用できません。

memo　入力したパスワードは、セキュリティーの観点より"*"（アスタリスク)で表示されます。

3 新パスワードを再度入力してください。

パスワードのタイプミスを防ぐために、先ほどの入力欄とあわせて、同じ文字を 2 回入力します。

4 設定更新 をクリックしてください。

パスワードが変更され、変更完了を表すメッセージが表示されます。

6 コンピューターからの印刷

6-1 印刷環境について

リモート印刷環境

・プロトコル

PS-11に接続したプリンターに対して印刷を行う場合、PS-11とコンピューターがTCP/IPで通信できる必要があります。詳細については、「3-4 TCP/IP 設定(☞ p.24)」を参照してください。

memo　印刷に関しては、TCP/IP以外にNetBEUIもサポートしています。

・OS

PS-11は、TCP/IP上で動作するネットワーク印刷プロトコルであるLPRに対応しています。従いましてほとんどのOSから印刷が可能です。本書では、特にWindows系のOSから印刷を行う際の設定について説明します。尚、Windows のバージョンによって設定内容が違います。Windows95/98/Meから印刷を行う場合は、ユーティリティーCD-ROMに格納されているLPRint98を使用してください。WindowsNT4.0/2000から印刷する場合は、OSに標準で搭載されているLPRドライバーを使用してください。

・プリンター

事前にコンピューターにプリンターを接続し、正常に印刷ができることを確認しておいてください。

memo　プリンターの接続、および、プリンタードライバーのインストールに関しては、プリンター付属のマニュアルを参照してください。

6-2 Windows95/98/Me から印刷する

Windows95/98/Me から PS-11 を通じて印刷をするためには、LPRint98 をインストールし、ポートの設定を行う必要があります。

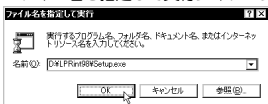
注意!! LPRint98 をインストールするためには、TCP/IP が組み込まれていなければなりません。必ず Windows に TCP/IP が組み込まれた状態で、LPRint98 をインストールしてください。

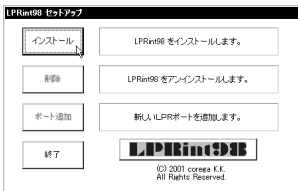
注意!! LPRint98 をインストールする前に、プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認しておいてください。

注意!! LPRint98 以外の LPR ソフトに関するサポートは、お受けできません。

LPRint98 のインストール

1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選択してください。

ファイル名を指定して実行ダイアログボックスが表示されます。

2 名前(O)の欄に CD-ROM ドライブ名に続けて"¥LPRint98¥setup.exe"と入力し、[OK]をクリックしてください。

LPRint98 セットアップダイアログボックスが表示されます。

memo CD-ROM ドライブのドライブ名が"D:"であった場合、ファイル名を指定して実行ダイアログボックスには、"D:¥LPRint98¥setup.exe"と入力してください。

memo 2 台目以降の PS-11 に対して印刷する場合は、[ポートの追加]をクリックしてください。LPRint98 のインストールを省略し、手順 6 からのポートの設定のみ行うことができます。

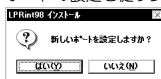
3 インストール をクリックしてください。

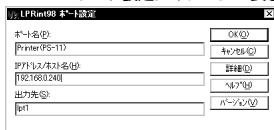
インストールを確認するダイアログボックスが表示されます。

4 はい(Y) をクリックしてください。

インストールが行われインストールの成功を表すダイアログボックスが表示されます。

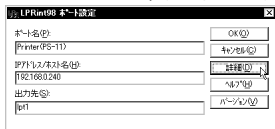
5 OK をクリックしてください。

ポートの設定を促すダイアログが表示されます。

6 はい をクリックしてください。

LPRint98 ポート設定ダイアログが表示されます。

引き続き、ポートの設定(☞ p.63)を行ってください。

ポートの設定

Windowsのプリンタードライバーが PS-11 に対して印刷データを送信するのに使用するポートを設定する必要があります。

1 LPRint98 のポート設定を行ってください。

① ポート名(P)

任意のポート名を入力してください。

memo　既に存在するポート名は指定できません。

memo　以下の文字は指定できません。
半角 “”(スペース)、“/”、“¥ ”、“&”、“:”、“=”

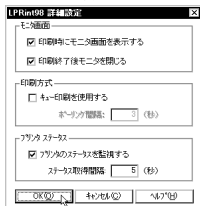
② IP アドレス/ホスト名(H)

PS-11 に設定した IP アドレスを入力してください。

③ 出力先(S)

PS-11 のパラレルポートに付けられた名称です。”lpt1”と入力してください。

2 詳細(D) をクリックしてください。

LPRint98 詳細設定ダイアログボックスが表示されます。

① 印刷中にモニタ画面を表示する

選択することにより、印刷中に印刷の進み具合が参照できるモニタを表示できます。

② 印刷終了後モニタを閉じる

選択することにより、印刷中に表示されていたモニタを印刷終了後、自動的に閉じます。

memo　モニタとは

LPRint98 を使用して印刷を行った場合、印刷の進行状況や、プリンタステータスを確認できる「拡張印刷モニタ」が表示されます。

③ キュー印刷を使用する。

LPRint98 を通じて、複数のプリンターに、同時に印刷を行う場合のみ意味のある設定です。

- 選択した場合　　複数のプリンターに対し 1 台ずつ順番に印刷を行います。
- 選択しない場合　　複数のプリンターに対し、同時に印刷を行います。

memo　通常は、選択しない状態でお使いください。

④ ポーリング間隔

プリンターに対して、どの程度の頻度で印刷の完了を確認するかを指定してください。キュー印刷を使用する を選択している場合のみ、設定が可能です。

memo　3〜60 秒の範囲で設定できます。

⑤ プリンタステータスを監視する

モニタにプリンタステータスを表示するかどうかを指定してください。

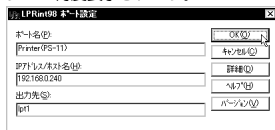
- 選択した場合　　モニタにプリンタのステータスを表示します。
- 選択しない場合　　モニタにプリンタのステータスを表示しません。

⑥ ステータス取得間隔

どの程度の頻度でプリンタのステータスを取得するかを設定してください。
「プリンタのステータスを監視する」を選択した場合のみ、設定が可能です。

memo　5〜60 秒の範囲で設定できます。

3 OK をクリックしてください。

LPRint98 詳細設定ダイアログボックスが閉じ、LPRint98 ポート設定ダイアログボックスが再度表示されます。

4 OK をクリックしてください。

設定内容が保存され、再起動を促すダイアログボックスが表示されます。

5 OK をクリックしてください。

ダイアログボックスが閉じ、LPRint98 セットアップダイアログボックスが表示されます。

6 終了 をクリックしてください。

LPRint98 セットアップダイアログボックスが閉じます。

7 Windows を再起動してください。

LPRint98 のインストールと設定が完了します。

プリンターの設定

LPRint98 のインストールとポート設定が完了したら、次に作成したポート経由で、印刷が行われるよう、Windows のプリンター設定を行う必要があります。

memo　プリンターがコンピューターに直接接続されている場合は、プリンターと PS-11 の電源を一度 OFF にし、プリンターを PS-11 に繋ぎ替え、プリンターの電源を ON にし、プリンターが完全に起動したことを確認してから、PS-11 の電源を ON にしてください。

memo　PS-11 の設定は、事前に完了させておいてください。

1 Windows から[スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択してください。

プリンターウィンドウが表示されます。

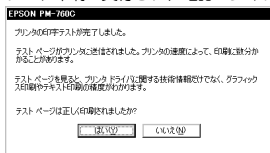
2 PS-11 経由で印刷したいプリンターのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［プロパティー(R)］を選択してください。

プリンターのプロパティーダイアログボックスが表示されます。

3 詳細 タブをクリックし、印刷先のポート(P) のドロップダウンリストボックスより Printer(PS-11):lpr (LPRint98 corega Port) を選択してください。

出力先が、PS-11 経由に切り替えられます。

4 全般 タブをクリックし、印字テスト(T) をクリックしてください。

テスト印刷が実行され、確認のダイアログボックスが表示されます。

注意!! 確認のダイアログボックスは、実際の印刷完了より先に表示されます。ダイアログボックスが表示されてからしばらくお待ちください。

PS-11 に対して印刷データの転送が開始されると、LPRint98 拡張印刷モニタが表示され、印刷状況が表示されます。

PS-11 に対する印刷データの転送が完了した時点で、LPRint98 拡張印刷モニタが閉じます。

5 印刷の確認ダイアログボックスから OK をクリックしてください。

テスト印刷が完了します。

memo テスト印刷で問題が発生した場合は、再度全ての設定を見直してください。

6-3 Windows2000 から印刷する

Windows2000 から PS-11 を通じて印刷をするためには、Windows2000 に標準添付されている Standard TCP/IP Port の設定を行う必要があります。

注意!! Standard TCP/IP Port を使用するためには、TCP/IP が組み込まれていなければなりません。必ず Windows に TCP/IP が組み込まれた状態で、Standard TCP/IP Port の設定を行ってください。

注意!! Standard TCP/IP Port を設定する前に、プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認しておいてください。

注意!! プリンターがコンピューターに直接接続されている場合は、プリンターと PS-11 の電源を一度 OFF にし、プリンターを PS-11 に繋ぎ替え、プリンターの電源を ON にし、プリンターが完全に起動したことを確認してから、PS-11 の電源を ON にしてください。

Standard TCP/IP Port の設定

1 Windows から[スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択してください。

プリンターウィンドウが表示されます

2 PS-11 経由で印刷したいプリンターの、アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから [プロパティ(R)] を選択してください。

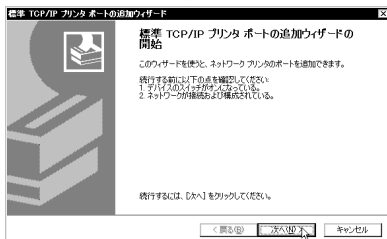
プリンターのプロパティーダイアログボックスが表示されます。

3 [ポート] タブをクリックし、双方向サポートを有効にする(E)のチェックボックスからチェックを外し、[ポートの追加(T)] をクリックしてください。

プリンタポートダイアログボックスが表示されます。

注意!! 本製品は、プリンターの双方向通信機能には、対応しておりません。

4 利用可能なポートの種類(A) リストから Standard TCP/IP Port を選択し、[新しいポート(P)] をクリックしてください。

TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが表示されます。

5 | 次へ(N) | をクリックしてください。

ポートの追加が表示されます。

① プリンタ名または IP アドレス(A)

PS-11 に設定した IP アドレスを入力してください。

② ポート名(P)

任意のポート名を入力してください。

memo 既に存在するポート名は指定できません。

memo 以下の文字は指定できません。
半角 “”(スペース)、“/”、“¥ ”、“&”、“:”、“=”

memo IP アドレスを入力した時点で、自動的にポート名が生成されます。そのままご使用いただいてもかまいません。

6 | 次へ(N) | をクリックしてください。

ポート情報を更に入力するようメッセージが表示されます。

7 カスタム(C) を選択し、 設定(E) をクリックしてください。

ポート情報を更に入力するようメッセージが表示されます。

① ポート名(P)

手順 **5** で入力したポート名が表示されます。

② プリンタ名または IP アドレス(A)

手順 **5** で入力した IP アドレスが表示されます。

③ プロトコル

LPR(L)を選択してください。

注意!! Raw(R)を選択すると正常に出力できません。

④ Raw 設定

印刷に使用する TCP/IP のポート番号です。

LPR(L)を選択した場合には、変更の必要はありません。

⑤ キュー名

PS-11 に装備されているプリンターポートの名称です。

lpt1 と入力してください。

注意!! lpt1 以外の名称にすると印刷ができません。

⑥ LPR バイトカウントを有効にする(R)

印刷状況をプリンタードライバーが認識するために必要な設定です。

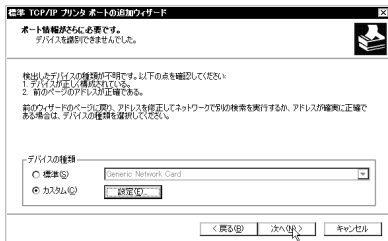
チェックを入れてください。

⑦ SNMP ステータスを有効にする(S)

チェックを入れないでください。

注意!! PS-11 は、SNMP ステータスに対応していません。必ずチェックを外してください。

8 OK をクリックしてください。

TCP/IP ポートモニタの設定ダイアログボックスが閉じ、TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードに戻ります。

9 次へ(N)> をクリックしてください。

ウィザードの完了を示すメッセージが表示されます。

設定内容を再度確認してください。

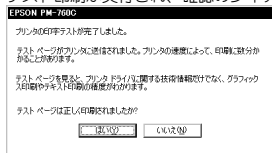
memo 設定内容を修正したい場合は、<戻る(B) をクリックして設定ダイアログを表示し、修正を行ってください。

10 ウィンドウを順に閉じてください。

完了 、閉じる 、OK とクリックしてください。

以上で Standard TCP/IP Port の設定が完了しました。

memo　テスト印刷を行う場合は、プリンターのプロパティーダイアログから、
テストページの印刷(T) をクリックしてください。

テスト印刷が実行され、確認のダイアログボックスが表示されます。

注意!!　確認のダイアログボックスは、実際の印刷完了より先に表示されます。ダイアログボックスが表示されてからしばらくお待ちください。

6-4 WindowsNT4.0 から印刷する

WindowsNT4.0 から PS-11 を通じて印刷をするためには、WindowsNT4.0 に標準添付されている Microsoft TCP/IP 印刷の設定を行う必要があります。

注意!! Microsoft TCP/IP 印刷を使用するためには、TCP/IP が組み込まれていなければなりません。必ず Windows に TCP/IP が組み込まれた状態で、Microsoft TCP/IP 印刷をインストールしてください。

注意!! Microsoft TCP/IP 印刷をインストールする前に、プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認しておいてください。

注意!! プリンターがコンピューターに直接接続されている場合は、プリンターと PS-11 の電源を一度 OFF にし、プリンターを PS-11 に繋ぎ替え、プリンターの電源を ON にし、プリンターが完全に起動したことを確認してから、PS-11 の電源を ON にしてください。

Microsoft TCP/IP 印刷のインストール

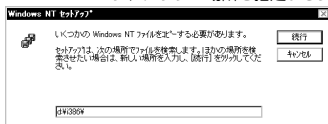
1 Windows から[スタート]-[設定(S)]-[コントロールパネル(P)]を選択し、ネットワークをダブルクリックしてください。

ネットワークダイアログボックスが表示されます。

2 サービス をクリックし、サービスタブから 追加(A) をクリックしてください。

ネットワークサービスの選択ダイアログボックスが表示されます。

2 Microsoft TCP/IP 印刷 を選択し、 OK をクリックしてください。

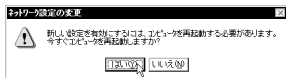
Windows NT セットアップの場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

memo Windows NT 4.0 の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。
通常、プリインストールモデルでは、この操作は必要ありませんが、Windows NT 4.0 をユーザー側でインストールしていた場合には必要となる操作です。

memo Windows NT 4.0 をインストールした後に、ハードディスク等を増設していた場合、誤った場所が表示されていることがあります。実際の環境にあわせて、場所の名前を書き換えてください。

3 **続行** をクリックしてください。

Windows TCP/IP 印刷がインストールされ、ネットワークサービス(N)のリストにWindows TCP/IP 印刷が追加されます。

4 **閉じる** をクリックしてください。

コンピューターの再起動を促すダイアログボックスが表示されます。

5 **はい(Y)** をクリックしてください。

Microsoft TCP/IP 印刷のインストールが完了し、コンピューターが再起動されます。

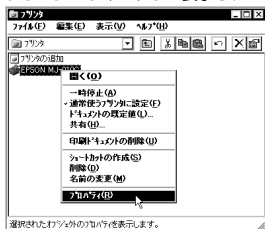
プリンターの設定

Microsoft TCP/IP 印刷のインストールとポート設定が完了したら、次に作成したポート経由で、印刷が行われるよう、Windows のプリンター設定を行う必要があります。

memo プリンターがコンピューターに直接接続されている場合は、プリンターと PS-11 の電源を一度 OFF にし、プリンターを PS-11 に繋ぎ替え、プリンターの電源を ON にし、プリンターが完全に起動したことを確認してから、PS-11 の電源を ON にしてください。

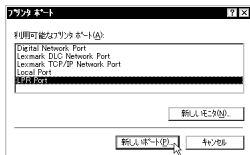
memo PS-11 の設定は、事前に完了させておいてください。

1 Windows から[スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択してください。

プリンターウィンドウが表示されます。

2 PS-11 経由で印刷したいプリンターのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから プロパティ (R) を選択してください。

プリンターのプロパティーダイアログボックスが表示されます。

3 ポート タブをクリックし、ポートの追加(T) をクリックしてください。

プリンタポートダイアログボックスが表示されます。

4 利用可能なプリンタポート(A) リストから LPR Port を選択し、新しいポート(P) をクリックしてください。

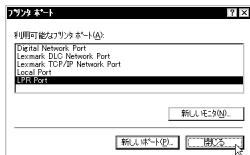
LPR 互換プリンタの追加ダイアログボックスが表示されます。

① LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス(N)
PS-11 に設定した IP アドレスを入力してください。

② サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名(P)
PS-11 に装備されているプリンタポートの名称です。
lpt1 と入力してください。

注意!! lpt1 以外の名称にすると印刷ができません。

5 OK をクリックしてください。

印刷用のポートが追加され、LPR 互換プリンタの追加ダイアログボックスが閉じます。
プリンタポートダイアログボックスに戻ります。

6 閉じる をクリックしてください。

プリンタポートダイアログボックスが閉じ、プリンターのプロパティーダイアログに戻ります。

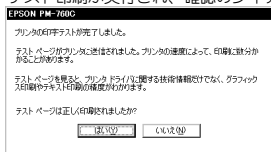
7 OK をクリックしてください。

プリンターポートダイアログボックスが閉じ、プリンターのプロパティダイアログに戻ります。

8 OK をクリックしてください。

プリンターのプロパティーダイアログが閉じ、プリンターの設定が完了します。

memo テスト印刷を行う場合は、プリンターのプロパティーダイアログから、テストページの印刷(T) をクリックしてください。

テスト印刷が実行され、確認のダイアログボックスが表示されます。

注意!! 確認のダイアログボックスは、実際の印刷完了より先に表示されます。ダイアログボックスが表示されてからしばらくお待ちください。

7 その他の設定

7-1 ファームウェアのアップデート

PS-11 は、ファームウェアを最新のものに書き換えることにより、最新の機能を使用することができます。

1 付属のユーティリティーCD-ROM の PS11verUP フォルダ内の PS11VerUP アイコンをダブルクリックしてください。

ファームウェアアップデートファイル選択ダイアログボックスが表示されます。

2 ダウンロードファイルの取得 をクリックしてください。

弊社のホームページが表示されます。

3 「ソフトユーティリティー」コーナーより、最新のファームウェアを取得してください。

memo ファームウェアを保存するフォルダに関しては、特に決まっていませんが、特別な理由がなければ「マイドキュメント」に保存してください。
本書では、「マイドキュメント」に保存したものとして説明します。

4 ファームウェアの取得が完了したら、バージョンアップユーティリティーから、 ファイル参照 をクリックしてください。

「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。

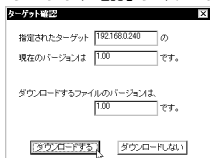
5 先ほど取得したファームウェアを選択し、 開く(O) をクリックしてください。

確認のダイアログボックスが表示されます。

6 OK をクリックしてください。

バージョンアップユーティリティーに戻ります。

7 PS-11 の IP アドレスを入力し、 ダウンロード をクリックしてください。

「ターゲット確認」ダイアログボックスが表示されます。

8 内容を確認し、 ダウンロードする をクリックしてください。

確認のためのダイアログボックスが表示されます。

OK をクリックしてください。

注意をうながすダイアログボックスが表示されます。

9 内容をよく読み OK をクリックしてください。

ダウンロードが開始されます。

注意!! ダウンロード中は、PS-11 の電源を OFF にしたり、 キャンセル をクリックしないでください。

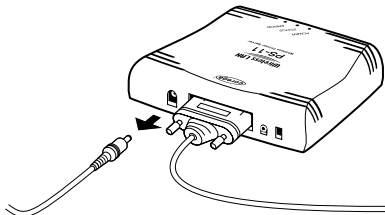
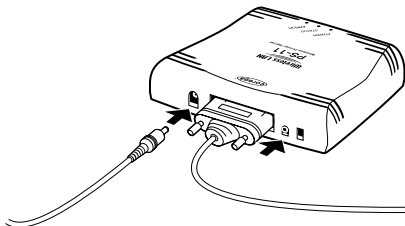
ダウンロードが完了すると完了を表すダイアログボックスが表示されます。

10 OK をクリックしてください。

ファームウェアのダウンロードが完了します。

7-2 工場出荷時状態に戻す

設定のミスやパスワードを忘れた場合などに、PS-11 の設定内容を工場出荷時の状態に戻し、設定をやりなおすことができます。

1 PS-11 から AC アダプターの DC プラグを抜いて、PS-11 の電源を OFF にしてください。

2 TEST スイッチを押したまま、DC プラグを接続しそのまま約 15 秒間 TEST スイッチを押しつづけてください。

PS-11 の LED が以下のように点灯します。

POWER	STATUS	ERROR
○	○	○
●	●	●
○	●	●

POWER LED のみが点灯した状態になれば、TEST スイッチから手を離してください。

工場出荷時設定に戻りました。

7-3 NetBEUI を使用して印刷する

何らかの理由で TCP/IP が組み込まれていないコンピューターから、NetBEUI で印刷を行いたい場合には、次の手順で設定を行ってください。

- PS-11 に NetBEUI の設定を行う(☞ p.32、p.46)
- コンピューターにプリンターの設定を行う

本項では、プリンターの設定手順について説明します。

注意!! PS-11 を設定するには、Windows および TCP/IP が組み込まれたコンピューターが必要です。NetBEUI のみ組み込まれたコンピューターからは、PS-11 の設定を行うことはできません。

memo PS-11 側の設定については、「NetBEUI 設定」(☞ p.32)および「NetBEUI の設定」(☞ p.46)を参照してください。

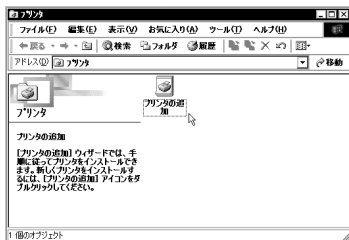
memo NetBEUI の組み込み方法については、Windows に付属のマニュアルおよび HELP を参照してください。
本書では、NetBEUI が組み込まれているものとして説明しています。

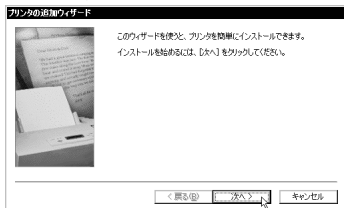
memo 基本的には、TCP/IP でご使用になることをお勧めします。

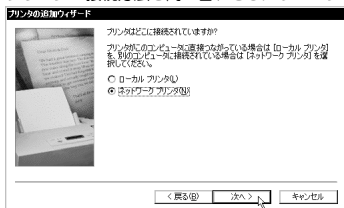
プリンターの設定

ここでは、WindowsMe を例に、プリンターの設定方法を説明します。他の OS をお使いの方も、ほぼ同等の操作で設定が可能です。

1 [スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]をクリックしてください。

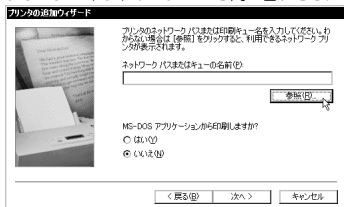
プリンタウィンドウが開きます。

2 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。

プリンタの追加ウィザードが表示されます。

3 次へ> をクリックしてください。

プリンタの接続方法を問い合わせるメッセージが表示されます。

① ローカルプリンタ(L)　プリンターがネットワークを介さずに接続されている場合に選択してください。

② ネットワークプリンタ(N)　プリンターが PS-11 などを使用し、ネットワークを介して接続されている場合に選択してください。

4 ネットワークプリンタ(N) を選択し、 次へ> をクリックしてください。

プリンタのネットワークパスを問い合わせるメッセージが表示されます。

①ネットワークパスまたはキューの名前(L)

PS-11 のプリンタポートを表すネットワークパスを入力するエリアです。

工場出荷時設定のまま変更していない場合は、以下のネットワークパスになっています。

¥¥Ps000001¥ps-lpt1

memo 「Ps000001」が PS-11 の名称です。PS-11 の名前を変更している場合は、変更後の名前を入力してください。名称の変更方法については、「NetBEUI 設定」(☞ p.32)および「NetBEUI の設定」(☞ p.46)を参照してください。

memo 参照(S) をクリックすると、ネットワークプリンタをマウスで選択することができます。

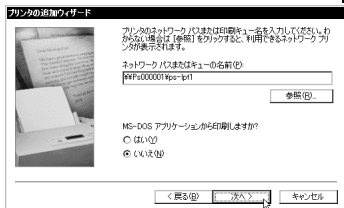
②MS-DOS アプリケーションから印刷しますか?

PS-11 に接続したプリンタに対して、コンピューターの「MS-DOS プロンプト」で動作するアプリケーションから印刷を行うかどうかを入力してください。

通常は、「いいえ」を選択してください。

5 参照(S) をクリックしてください。

プリンタの参照ダイアログボックスが表示されます。

「Ps000001」の下にある「ps-lpt1」を選択し、 OK をクリックしてください。

ネットワークパスまたはキューの名前(L) の欄に PS-11 のネットワークパスが入力されます。

6 　次へ＞　をクリックしてください。

プリンタ選択ページが表示されます。

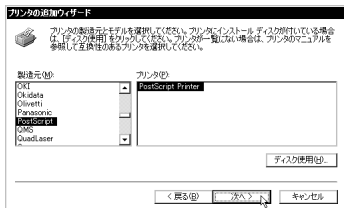
プリンタの追加ウィザード

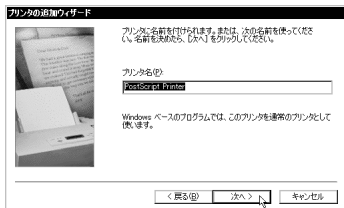
プリンタの製造元とモデルを選択してください。プリンタにインストール ディスクが付いている場合は、[ディスク使用] をクリックしてください。プリンタが一覧にない場合は、プリンタのマニュアルを参照して互換性のあるプリンタを選択してください。

製造元(M):
OKI
Okidata
Olivetti
Panasonic
PostScript
QMS
QuadLaser

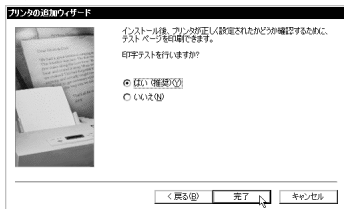
プリンタ(P):
PostScript Printer

ディスク使用(H)...

< 戻る(B)　次へ >　キャンセル

7 PS-11 に接続されているプリンターの製造元とモデルを選択し、　次へ＞　をクリックしてください。

プリンタ名を付けるページが表示されます。

memo　覚えやすい名称を指定してください。

8 名前を入力し、　次へ＞　をクリックしてください。

最終のページが表示されます。

9 　完了　をクリックしてください。

プリンタの設定が完了します。

8 トラブルシューティング

ここでは、本製品使用中のトラブルの代表的な例と、その対処方法について説明します。
主な現象ごとに、その原因と対応方法を説明しています。

8-1 PS-11 の設定が正常にできない

■ SetupWizard が正常に動作しない。

＊ TCP/IP プロトコルがインストールされていない。または設定が正しくない。
「3-4 TCP/IP 設定」(☞ p.24)を参照し、TCP/IP の設定を確認してください。

＊ 無線カードまたは無線アダプタ-が設定用コンピューターに搭載されていない。
設定のコンピューターに無線カードまたは無線アダプターを付け、動作可能な状態にしてください。

＊ PS-11 の IP アドレスの設定が正しくない。
SetupWizard で IP アドレスのネットワークアドレス部とサブネットマスクを接続するコンピューターと一致させてください。

＊ NT4.0 で正常に動作しない。
サービスパック 3 以上がインストールされていることをご確認ください。

8-2 無線 LAN カードをつけたコンピューターと通信できない

■ 無線 LAN カードのドライバーが正しくインストールされていない。

＊ 無線 LAN カードのドライバーが正しくインストールされていない。
無線 LAN カードに付属のマニュアルを参照し、正しくインストールしてください。

＊ 接続先機器（PC、HUB、等）の LINK LED が点灯しない
- 接続先の機器(PC、HUB、等)の電源が ON になっていることを確認してください。
- UTP ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

■ 電波状態が悪い

＊ 本製品とコンピューター間の距離を短くしたり、障害物をなくして見通しを良くしてから、再度通信してください。

■ 無線 LAN カードと本製品の設定があっていない。

＊ 通信モードの設定を合わせてください。

＊ 「SSID」の設定があっていない。
SSID に同じ文字列を設定してください。

＊ 通信相手が「暗号」設定している。
「暗号」設定を解除してください。

■　コンピューターのパワーマネジメント機能、サスペンド機能が動作している。

* パワーマネージメント機能、サスペンドレジューム機能の設定を OFF(無効)にしてください。

  memo　詳細については、コンピューターのマニュアルを参考にしてください。

■　corega Wireless LAN USB-11 と通信できない。

* PS-11 本体に付属のディップスイッチで 802.11AdHoc に切り替えてください。

  memo　詳細については、コンピューターのマニュアルを参考にしてください。

8-3 正常に印刷できない

■　正常に印刷できない。

* プリンターの設定またはドライバーのインストールが正常に行われていない。
  PS-11 に接続する前に、コンピューターと直接接続し、印刷できることを確認してください。印刷できない場合は、プリンターに付属のマニュアルを参照してください。
* PS-11 とプリンターが正しく接続していない。
  2 章を参考に、接続方法をご確認ください。
* PS-11 に対し、プリンターの双方向通信機能を使用している。
  双方向通信機能を解除してご使用ください。
* 文字化けまたは文字抜けが発生する。
  処理速度の遅いプリンターで発生することがあります。
  PS-11 のスピードを標準モードにしてください。
* プリンターの起動が PS-11 の起動より遅い。
  PS-11 の電源を ON してから、実際に PS-11 が起動を開始するまでの時間（ブートディレイ）を変更してください。

■　テスト印刷ができない。

* ご使用のプリンターが ASCII コードをサポートしていない。
  ご使用のプリンターが ASCII コードをサポートしているかをご使用のマニュアルまたはメーカーにてご確認ください。

■　PS-11 の TEST スイッチで印刷できない。

* ご使用のプリンターが ASCII コードをサポートしていない。
  ご使用のプリンターが ASCII コードをサポートしているかをご使用のマニュアルまたはメーカーにてご確認ください。
* PostScript プリンター以外でテスト印刷を行うと 1 行目が重なる。
  PS-11 の仕様であり、障害ではありません。

8-4 その他

■ IP アドレスの設定方法がわからない

＊ 「3-4 TCP/IP 設定」(☞ p.25)を参照し、TCP/IP の設定を確認してください。

■ 本製品の使用環境について

＊ 本製品は、電波を使用して通信を行っていますが、ご使用の環境によっては、「通信できない」、「通信速度が遅い」などの問題が発生することが考えられます。下記の表を参考にして使用環境を調査し、環境に問題がある場合には、本製品の設置場所を変更する、仕切りを取り払う、無線 LAN 製品間の距離を短くするなどの対策を講じてください。

	物質の種類	使用環境例
電波を通す物質	木材 ガラス	木の仕切り、ドア 木造 2 階建ての 1 階と 2 階 ガラス窓、ドア
電波を通さない物質	石、レンガ セメント/コンクリート 鉄	石の壁、レンガの壁 セメント/コンクリートの壁や床 鉄の仕切り、ドア 鉄筋 2 階建ての 1 階と 2 階 防火ガラス(針金入りガラス)

■ 管理パスワードを忘れてしまった

＊ Web インターフェースの詳細設定もしくは PS-11 本体上の TEST スイッチにて工場出荷状態に戻してください。

■ 管理パスワードを変更したい。

＊ Web インターフェースの詳細設定で変更してください。

A 製品仕様

無線部	
規格	IEEE 802.11、802.11b
周波数帯域	2400～2497MHz
変復調方式	DS-SS 方式
情報変換方式	CCK(11Mbps,5.5Mbps)、DQPSK(2Mbps)、DBPSK(1Mbps)
アクセス制御方式	CSMA/CA
データ転送速度	11/5.5/2/1Mbps 自動切り替え
セキュリティ	WEP 40bits encryption,SSID
サービスエリア	屋外 150m、屋内 50m（11Mbps 通信時：屋外 70m、屋内 30m） ※周囲環境により異なります。
空中線電力	3mW/MHz
送信出力	最大 13dBm
アンテナ形式	空間ダイバーシティー(内蔵)
電源部	
入力電圧	AC100V（AC アダプターによる、外部電源型）
最大消費電力	3.4W
消費電流	750mA(平均)/900mA(最大)
プリンタ接続部	
プリンタ I/F	パラレル(IEEE1284 準拠 Nibble,EPC,Compatible 対応)
コネクター	D-Sub25 ピンオス(プリンタ側:アンフェノール 36 ピン)
ケーブル規格	IBM PC-AT 用(ケーブルは付属していません)

環境条件	
保管時温度	-20～60℃
保管時湿度	95%以下(ただし結露なきこと)
動作時温度	0～40℃
動作時湿度	80%以下(ただし結露なきこと)
外形寸法	
	148(W)×124(D)×30(H)mm (突起部含まず)
重量	
	本体 約250g(AC アダプタ除く)
取得承認	
EMI 規格	VCCI クラス B

B 工場出荷時の設定

PS-11 は、工場出荷時に以下の設定となっています。

ユーザー名	root
パスワード	corega
IP アドレス	192.168.0.240
サブネットマスク	255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	255.255.255.255
通信モード	AdHoc
SSID	corega WL PCC-11
チャンネル	10
通信速度	Auto
DHCP	無効
暗号化(WEP)	無効
サポートするパラレルポート	自動
現在のパラレルポート	ニブルモード
ブートディレイ	0 秒

C LED の状態表示

	本体の LED		
	POWER	STATUS	ERROR
表示色	（緑色）	（黄色）	（赤色）
Link 時	○	☼(パケット受信時)	●
テスト印刷中	☼	☼	●
設定初期化中	☼(ゆっくり)	☼(ゆっくり)	☼(ゆっくり)
システムエラー	●	●	○
バージョンアップ中	緑色点灯時→黄色消灯、 黄色点灯時→緑色消灯 の繰り返し		●
プリンタと ネゴシエーション失敗	○ → ● (3 秒に 1 回)	○ → ● (3 秒に 1 回)	●
本体の不良	○	●	☼(ゆっくり)

点灯：○　　点滅：☼　　消灯：●

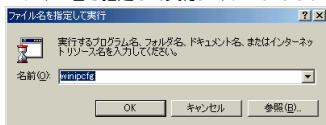
注意!! システムエラーの場合、電源を入れ直して再起動してください。
システムエラーが継続する場合, サポートセンターにご連絡ください。

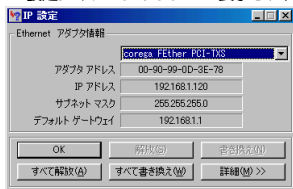
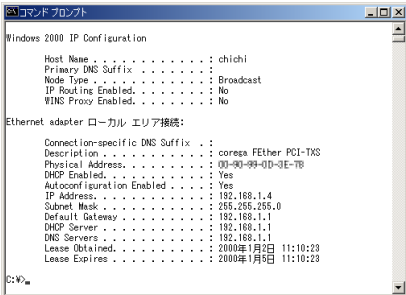
D コンピューターのネットワーク設定を参照する

お使いのコンピューターにどのようなIPアドレス/サブネットマスクが設定されているか、参照する方法を説明します。

Windows Me/98/95の場合：

1 スタート から「ファイル名を指定して実行」をクリックしてください。

ファイル名を指定して実行ダイアログボックスが表示されます。

2 入力欄に「winipcfg」と入力し、OK をクリックしてください。

IP設定ダイアログボックスが表示され、TCP/IPの設定内容が表示されます。

memo IP設定ダイアログボックスの、プルダウンリストボックスにLANカード名称が表示されていることを確認してください。

Windows 2000/NTの場合：

1 スタート から「プログラム」「アクセサリ」「コマンドプロンプト」をクリックしてください。

コマンドプロンプトウィンドウが表示されます。

2 “ipconfig /all”と入力し、↵を押してください。

ネットワーク設定の内容が表示されます。

E MAC アドレスについて

Ethernet に接続される機器は、MAC アドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MAC アドレスは機器(アダプター)のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の(unique、ユニークな)アドレスです。

MAC アドレスは、下記の 6 バイト(48 ビット)によって構成されており、本製
品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品の MAC アドレスは、製品に貼付されている MAC アドレスラベルに記入されています(表記は全て 16 進数)。

00	90	99	81	xx	xx
ベンダーID			通し番号		

・ ベンダーID
  LAN ベンダー(LAN 用機器を製造しているメーカー)が IEEE に申請することにより得られる識別番号です。
・ 通し番号
  この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、本製品は、「81」または「82」から始まる 6 桁の数値となっています。
  この通し番号と本製品の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。

memo　MAC アドレス（マックアドレスと読みます）は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。
また、MAC アドレスは、TCP/IP の環境で使用される IP アドレスに関係がありますが、これらは別々のものです。

F 用語集

●AdHoc

「AdHoc」モードは無線 LAN ネットワーク構成の 1 つで、無線 LAN カードを取り付けたコンピューター同士でネットワークを構成する場合に使用します。
コンピューター同士は、ピアツーピアで接続され、お互いのリソースを共有することができます。

●Infrastructure

「Infrastructure」モードは無線 LAN ネットワーク構成の 1 つで、アクセスポイントを使用し、有線ネットワークと無線ネットワークを統合して 1 つのネットワークとして構成する場合に使用します。

●Microsoft ネットワーク

Windows98/95 などのサーバーサービスを利用するためのソフトウェアです。
通常、プロトコルには「NetBEUI」が使用されます。

●NetBEUI プロトコル

小中規模のネットワークトランスポートプロトコルです。
NetBEUI は、OSI 参照モデルのトランスポート層およびネットワーク層プロトコルに相当します。
これを、NetBIOS と統合することにより、ワークグループ LAN 環境で効率的な通信システムが実現されます。
Windows98/95 などでサポートされています。

●SSID

「SSID」(Service Set IDentifier)は無線 LAN ネットワークを構成するコンピューター同士を識別する名前です。
同じネットワークに属するコンピューターまたはアクセスポイントは、同じ SSID を設定しなければなりません。
「SSID」は、半角英数文字 32 文字以内(大文字、小文字も区別される)で設定します。
(「SSID」の設定は、「AdHoc」モードの場合は無効です。)

●TCP/IP プロトコル

インターネットで使用されているプロトコルで、OSI 参照モデルのトランスポート層およびネットワーク層プロトコルに相当します。
TCP/IP プロトコルを使用すると、異なるプラットフォームのコンピューター同士でも通信することができます。

●アクセスポイント

無線 LAN から有線 LAN のネットワーク上のコンピューターと通信するための装置です。

●送信速度

送信速度は、無線 LAN ネットワークを構成するコンピューターが対応している速度から選択することができます。
帯域を有効に利用し、最適な速度で通信を実行するには、「Auto(送信速度自動設定)」に設定しておきます。
「Auto」に設定すると、送信速度はネットワークを構成するコンピューターに合わせて自動的に調整され、最適な速度で通信できるようになります。

●チャンネル

無線 LAN 通信で使用される、IEEE802.11 のデフォルトのチャンネルを設定します。

●ピアツーピア接続

コンピューター同士が、1 対 1 で対等に行う通信です。
サーバーとクライアントのように機能を分化せず、お互いの機能を利用して通信を行い、ファイルやプリンターなどの資源を共有することができます。

●無線 LAN

配線を必要としない LAN(Local Area Network)のことです。
１つの建物内や敷地内など、比較的狭い範囲で、電波や赤外線、レーザーを使用してネットワークを構築します。

G 保証と修理について

保証について

本書に記載されている、「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。
無条件で製品を保証するということではありません。
正しい使用法で使用した場合のみ、保証の対象となります。
また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。
詳しくは、本書に記載されている「製品保証規定」をお読みください。

また、本製品（ユーティリティーディスクは除く）の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

修理について

故障と思われる現象が発生した場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。
現象が改善されない場合は、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書を添付し、弊社サポートセンター宛に製品をお送りください。

memo　申し訳ありませんが、直接来社されてのサポート依頼は、受け付けておりませんので、製品は必ず宅配便などでお送りください。

製品を送られる場合は、次の点にご注意ください。

- 弊社サポートセンターへ製品を送られる場合の送料につきましては、送り主様のご負担とさせていただきます。
  なお輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。（普通郵便による送付は、固くお断りいたします。）
- 修理期間は、製品到着後 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。
- 製品送付先

  〒 222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-20

  (株)コレガ corega サポートセンター宛

H ユーザーサポートについて

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号まで FAX してください。
できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。
FAX によって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。
記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入のお願い」をご覧ください。

Tel:　045-476-6268
月～金（祝・祭日を除く）
10：00～12：00、13：00～17：00

Fax:　045-476-6294

なお、電子メールによるサポートは行っておりませんので、ご了承ください。

corega Net-News の購読について

■ corega のホームページにアクセスしてください！

http.//www.corega.co.jp/

corega ホームページにアクセスすれば、商品の詳細やＰＣ動作検証リストはもちろん、ＦＡＱなどコレガに関するすべての情報が入手できます。
ダイレクトショッピングからドライバーのダウンロードまで、便利なサービスも満載で、何でもおまかせのホームページです。

■ 「corega Net-News」のご案内

「corega Net-News」はコレガ社がお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など、耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客さまは、corega ホームページでご登録ください。尚、メール配信サービスはどなたでもご登録いただけます。

調査依頼書のご記入のお願い

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。
障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。
記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

■ ハードウェアとソフトウェア

* 本体裏面に貼られたラベルに記入されている下記のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。

  （例） S/N 000770000002346 Rev 1A

* ご使用になっているソフトウェアの種類／バージョン（Ver.）／シリアル番号を記入してください。
  それらは、ユーティリティーディスクのラベル上に記入されています。

* 他社のインターフェースボードやユーティリティーをご使用の場合は全てご記入ください。

■ お問い合わせ内容について

* どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に（再現できるように）記入してください。

* エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトしたものなどを添付してください。

* 障害などが発生する場合には、本アダプターと併用されているユーティリティーや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。

■ ネットワーク構成について

* ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

* 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

最新ファームウェアの入手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のファームウェアのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のファームウェアは、コレガのホームページから入手することができます。

■ ホームページからの入手

① Internet Explorer、Netscape Navigator などの WEB ブラウザーを使用して、コレガのホームページ「http://www.corega.co.jp/」にアクセスしてください。

②「サポート」をクリックしてください。

③ 最新版のファームウェアはここで紹介されますので、項目を選択して、ダウンロードしてください。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

Windows、WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

その他、この文書に記載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2001 年 08 月　　　　Rev.A　初版

メモ

本製品の初期設定および、変更後の設定を記録しておきましょう。

基本設定		初期設定	変更後の設定
SSID		corega WL PCC-11	
チャンネル		チャンネル10	
IP設定	IPアドレス	192.168.0.240	
	サブネットマスク	255.255.255.255	
	ブロードキャスト	255.255.255.255	

ご自由にお使いください。

調査依頼書 (corega Wireless LAN PS-11 1/2)

年　月　日

一般事項

1. 会社名(個人名):　　　　フリガナ:
   部署名:　　　　ご担当者:
   ご連絡先住所 〒

   TEL:(　　　)　　　　FAX:(　　　)
2. 購入先:　　　　購入年月日:
   購入先担当者:　　　　購入先 TEL:(　　　)

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用のハードウエア機種(製品名)、シリアル番号、リビジョン

   製品名：corega Wireless LAN PS-11　　S/N ______________ Rev ___

   ファームウエアのバージョン：Ver.______ pl.______
2. ご使用のプリンター情報
   メーカー名
   機種名
3. ご使用のコンピューターと、併用している無線LANアダプター（ボード）の情報
   コンピューターのメーカー名／機種
   OSとバージョン
   無線LANアダプターのメーカー名／機種
   ご使用のサーバー情報
4. コンピューターのメーカー名／機種
   OSとバージョン

お問い合わせ内容

□別紙あり　　□別紙なし

□設置中に起こっている障害　　□設置後運用中に起こっている障害

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。

・ ハードウェア本体：製品保証書に記載の保証期間で無償保証とします。（ただし、本規定の他の条項に準じます。）
・ 電源アダプター／電源ケーブル：1年保証
・ 本体付属品（ディスク）：3ヶ月保証

■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。（ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。）

1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の機器が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換（バックアップ電池など）
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合
9. 本製品のファームウェアのアップデートを弊社に依頼された場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。

■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。

■製品保証書は、日本国内のみで有効です。

■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品保証書（1年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製 品 名　corega Wireless LAN PS-11

シリアル番号
（S／N）

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先

corega サポートセンター

TEL ：045-476-6268　FAX ：045-476-6294

〒222-0033横浜市港北区新横浜1-19-20

受け付け時間：10:00～12:00／13:00～17:00

月～金（祝・祭日を除く）

販売店様印

※ 本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印がない場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。

※ 製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。